

日本共産党

ひめだ高宏ニュース

NO.11

'07.10.31

伊豆の山中で勉強しました。

10月19日(金)から27日(土)まで、静岡県熱海市にある日本共産党の伊豆学習会館で開かれた「中央党学校」に、私、ひめだ参加させてもらいました。くわしくは(2)面に。その間に和歌浦と名草のQ条の会が勉強会を開いたと鶴田さんの感想が届きました。

和歌浦・名草Q条の会が勉強会

10月27日(土)地場産センターで和歌浦・名草Q条の会が由良弁護士を招いて勉強会を開きました。50人が参加して由良弁護士の分りやすい熱のこもった話に聞き入りました。

憲法をめぐる状況は福田内閣になっても決して油断できないこと(福田首相は自民党の憲法改悪草案Q条の担当者だとか)、民主党は改憲派、護憲派の寄り合い世帯で党としてはたより

ないこと、状況を変えるのは「世論」の力だと力説しました。話のあといつもの由井さんから「憲法Q条五月晴れ」という演歌調の歌の指導もありました。この曲をはやらしてくる人にはCDがテープをくれるそうです。ご希望の方は、津野実さんへ電話444・3750まで。

以下は帰りのロビーとエレベーターでの感想です。「福田もけっこう悪やナア」「ちよ、とウトウトしたけど、ちやんと聞いたよ。エエ話やった」「憲法を変える宣伝に政府が何億円も予算化してるとは腹立つッ」「もうちよ、と気合を

フリーの人々



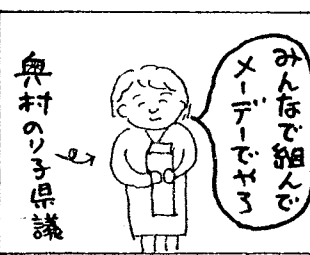
<554>



思案まっぴりのヨサコイソラン



わたしもやる



みんなで組んでミーデーでやろ



へたでもええやん

入れて取り組まなアカンナアレ「あの歌カラオケないんかナアレなカニバも一万円余が寄せられたとのことです。名草・鶴田至弘

こんにちは

県会議員の

ふじい健太郎

です。

(その200)

も稼動していません。

ここで駿河湾のプレートが動く東海地震が起これば津波は瞬時に到来、都市機能はストップし、老朽木造住宅38万戸が倒壊するという大きな被害想定が示されています。

富士山の姿は最後まで見られませんが、地震予知の体制や県内各地への防災拠点の設置、県職員の手厚い配置、地域での自主防災組織づくりなど学ぶことが多くなりました。

入れて取り組まなアカンナアレ「あの歌カラオケないんかナアレなカニバも一万円余が寄せられたとのことです。名草・鶴田至弘



ふじい健太郎 県議員

無料
生活相談
お昼軽に
080
1415-3951
ひめだ高宏
まで

中央党校 おいしい講義と食事講

日本共産党の伊豆学習会館は、熱海駅から伊東線伊豆急下田行きで2つめの伊豆野賀駅であり、ミカン山を登っていくのですが、今回は、往復両様のため車で運んでもらいました。

会館は、山の斜面に段々に5棟建てられ、1階は玄関とお風呂、2階は食堂、3階は講義と読書室、図書室というふうになっています。

部屋には2段ベットが2つありました。つくりつけの机もあり勉強部屋という感じです。

朝、昼、晩に食堂で出される食事は、お豪華で、私がかれまで泊まったどのホテル、旅館より立派なものでした。

講義は、1日めは山口富男社会科学研究所副所長(元衆議院議員)の党史。85年

ごんごんは 日本共産党



10月29日、国会は、守屋武昌前防衛事務次官を証人喚問しました。焦点はインド洋での海上自衛艦による米艦への給油量隠ぺい問題、軍需関係商

社による守屋氏への過剰接待と口利を疑惑などです。

日本共産党の赤嶺政賢衆院議員の尋問に、守屋氏は元事務の飲食接待の場で複数の政治家と同席したこと、そのほかには防衛庁長官経験者も含まれていることを認めました。巨大な軍事利権をめぐる「政・軍・財」の癒着構造が浮き彫りに

れてきました。

給油量隠ぺい問題でも、米空母キティホーク艦長が自衛隊から給油を受け、イラク戦争に使ったと発言した問題で、守屋氏が事実を確かめるためではなく、口裏をあわせるために在日米大使館公使に働きかけていたことが明らかになりました。

を1日で駆け抜けました。翌日から長久理嗣社会科学研究所事務局長の科学的社会主義。ぐいぐい話にひきこまれる討論でした。(2日間)。次は、河邑重光書記局長の党綱領。(2日

山下よしき
参院議員の
国会報告会
11月17日(土)
13:00~14:30
農協会館5階Bホール
(JR和歌山駅前)
主催:日本共産党和歌山地区委員会

間)。最後は、中井作太郎党建設委員会責任者の党建設。この講義も資料が豊富で、とても充実しました。参加者同士の交流も楽しく刺激もあり満足でした。

「子ども救急相談ダイヤル」

井(シャープ)8000番。ご存知でしょうか。携帯やダイヤル回線の場合437の8000番です。2年前から始まった「子ども救急相談ダイヤル」のことです。子どもが急病になった時、すぐに病院に行くべきか、翌朝まで様子を見て大丈夫なのか、電話で相談できるようにしています。

県の救急医療情報センター内に看護師が待機していて、医師と連絡を取り合っ

て対応します。ただ、開設時間帯が日曜・祝日・年末年始の午後7時から午後11時までに限られているのが利用を妨げています。和歌山市の夜間休日応急診療センターが平日の午後8時から翌朝6時まで(土曜日・休日は午後7時から)と休日は朝10時から午後5時まで開設されていて、幅広く対応していきます。しかし、どうしても隙間の時間帯がほまれます。せめて電話での相談を早朝と夕方以降に開設するよう求めています。

国会議員・ふじい 健太郎

短歌

勝田 鉄也

嫁ぎゆく娘に吾は泣き噺る。
寿司の白きと毒は頬張る。
眠刻を飲みて目覚めの一時は
至福の時ぞ朝の茶房に